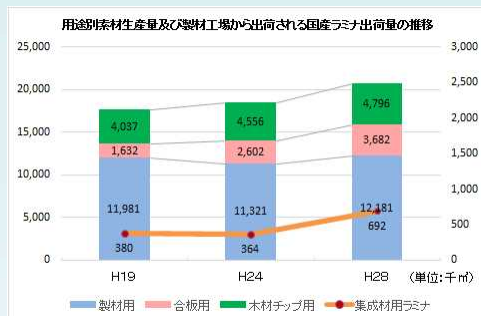


A材を活用した新たな木材製品づくりの推進

現状・課題

○ A材の需要が伸び悩み

- ・この約10年間（H19～H28）で全国における素材生産量は、117%と増加
- ・製材用（A材）は102%と横ばい。合板用（B材）は226%、木材チップ用（C材）は119%と大きく増加
- ・国産材の集成材用ラミナ（B材）の出荷量は182%と大きく増加

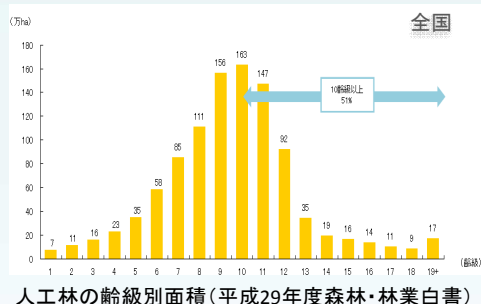


出展：農林水産統計

○ 森林所有者の収入減少

全国平均のスギ山元立木価格は、この約10年間（H19～H28）で約2割下落
 (H19：3,369円/m³⇒H28：2,804円/m³)

出展：(一社)日本不動産研究所「山元素地及び山元立木価格調(2018.3末)」



人工林の年齢別面積 (平成29年度森林・林業白書)

○ 森林資源の成熟化

50年生以上の人工林面積の比率が増加 (51%)

- ・原木の大径化、品質の高い原木が増加

○ 建築基準法の一部改正により建築物への木材の活用範囲が拡大

- ・中層建築物の構造部材を燃えしろ設計により木材をそのまま見せる「あらわし」など、**準耐火構造での建築も可能**

- ・燃えしろ設計では J A S 製材品が必須

豊富な森林資源を活用

木材需要の拡大には、A材を活用した非住宅建築物・マンションの木造化・木質化の推進が重要

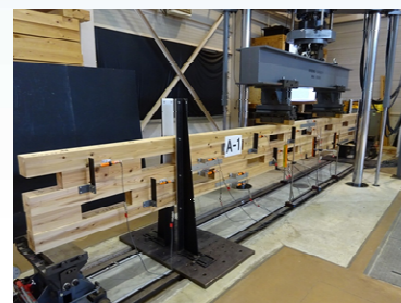
1 付加価値の高い多様な製品づくりが必要

2 品質及び性能が明確な J A S 製材品の安定供給が必要

政策提言

提言1 付加価値の高い多様な製品づくりに対する支援の強化

- 木材加工業者、デザイナー、建築士などが継続的に学び、交流することにより多様な製品開発を推進できるプラットフォームづくりへの支援
- コスト競争力のある構造材や付加価値の高い製品の開発への支援
 - ・ A材(一般材)を活用したリーズナブルで施工性の高い構造材や木質耐火建材の開発
 - ・ A材(役物)を活用した内装材の開発 等
- 開発された製品を活用したモデル建築物の整備や施主、建築士などへの普及に対する支援
 - ・ モデル建築物の整備と構造見学会などの開催



重ね透かし梁



重ね透かし梁使用建物

提言2 J A S 製材品の安定供給体制の整備に対する支援の強化

- J A S 構造材の生産に必要な乾燥機や強度測定機などの整備に対する支援
- J A S 構造材等を活用した建築物の整備に対する支援



JAS製材工場



木造・RCハイブリット庁舎



内装木質化